

この紙のゴール: to+動詞の原形のはたらきを見分け、場面に合わせて使える / 選んで答える版。じっくり読めば必ず解けます。

1 場面に合うほうを○でかこう。

知識・技能

各3点

(1) 週末の予定を聞かれて	I want (to go / going) to the new bookstore.
(2) 読み終わった本を持って図書館へ	I went to the library (to borrow / to return) some books.
(3) 今週やることを数えながら	I have a lot of things (do / to do) this weekend.
(4) テレビで決勝ゴールの瞬間を見て	I saw the striker (score / to score) the winning goal.

2 対話を通じるように () に英語を書こう。

知識・技能

各2点

語群: finish / borrow / do (1回ずつ使う。形を変えるものもある)

A: What are you going to do this weekend?

B: I'm going to the library () some books for my report.

A: Sounds good. I have a lot of homework () too.

B: Same here. I hope () everything by Sunday night.

3 自分のことを書こう。

思考・判断・表現

2点

「今いちばんやってみたいこと」を、不定詞を使って英語1文で。
書き出しヒント: I want to ...

4 to のかたまりのはたらきで考えよう。

思考・判断・表現

各2点

歩いているときに電話がかかってきたときのことを話します。どちらも英語として正しい文です。

A I stopped to talk on the phone.

B I stopped talking on the phone.

① 「電話で話すために、立ち止まった」のはどちらですか。記号で答えよう。

② もう一方はどういう意味になりますか。日本語で書こう。
ヒント: 「～するのを…した」の形で書く

解答

1		2	
(1)	to go	(1)	to borrow
(2)	to return	(2)	to do
(3)	to do	(3)	to finish
(4)	score		

3（解答例） I want to visit Australia and see koalas.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	A	stop したあとの to talk は「立ち止まった目的」＝副詞のはたらき。やめたのは歩くこと。
②	「電話で話すのをやめた。」（一例）	Bの talking は stop の目的語で、「話すこと」をやめたという意味。同じ stop でも、うしろが to+原形か ing 形かで「やめたもの」が入れかわる（Aは歩くのを、Bは話すのをやめている）—ここを説明できれば、はたらきで見分ける力がついている。

採点のめやす

- ・大問1は(1)(2)(3)が to+原形、(4)だけが原形不定詞です。はたらきも(1)目的語(2)目的(3)名詞の説明(4)知覚動詞のうしろとすべて違います。「この単元は全部 to」と当てにいった答えは(4)だけ落ちます—返却時にここを1分取り上げてください。
- ・大問1(2)は形ではなく意味で選ぶ問題です（場面が「読み終わった本を持って」なので to return）。どちらの選択肢にも to があるので、形だけを見ても選べません。
- ・大問1(4)は see / hear / watch と let / make / have のうしろがto の付かない原形になる型です。to score と書いた答えは、この単元を「to を付ける単元」として覚えている合図です。
- ・帯ごとの扱い：学び直し帯は見取り図に「形容詞のはたらき」と「原形・完了不定詞」の行が無いので、大問1(3)(4)と大問2(2)を外して16点満点で扱ってください。
- ・形容詞のはたらき（things をうしろから説明）は中学既習なので、そのまま出題して基礎固め帯と同じ扱いにしてもかまいません（学年やクラスで統一すること）。
- ・基礎固め帯は原形不定詞だけが範囲外なので、大問1(4)を外して21点満点。
- ・実力帯・入試帯は24点満点です。
- ・大問2は3語とも to+原形にするだけなので、語群版では並びを空所の順とわざとずらしてあります（順番で当てられないように）。
- ・大問2も3つとも to+原形ですが、(1)は目的、(2)は things の説明、(3)は hope の目的語です。ここに気づいた生徒がいたら、そのまま全体に共有してください。
- ・大問3は「to+動詞の原形」が入っていれば内容は問いません。to のうしろを過去形や ing 形にする誤りが最も多く出ます。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。AもBも正しい英文なので、形だけを見ても選べません。②で「話すのをやめた」の趣旨が書けていれば表現は問いません。AとBを逆にした答えは、to のかたまりを「～すること」一択で覚えている合図です。
- ・発展版の大問3（理由の1文）は不定詞でなくてよいことを採点前に確認してください（Because I like animals. で正解です）。
- ・大問4を加えて24点構成です。10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。

